

当協議会会員様の取り組み好

#### 事例

松井エネルギーモータース  
(コスモ系)

富山県内で2カ所のSS(フ

ルサービス店)と自動車整備工場を運営する、松井エネルギーモータースの松井健彰社長にお聞きしました。

一一御社の概要についてお教

えください

松井エネルギーモータースの創業は1970年、ガソリンスタンド事業が出発点です。

本拠を置くのは、富山県中新川郡上市町です。

上市町は現在、人口1万7900人。全国平均0.48%の人口減少率に対し、上市町は1.48%。

高齢化率(65歳以上)に至っては、全国平均のそれ(29.1%)に対しても上市町は38.3%。約4

割が65歳以上という人口構成比です。

直営2カ所のSSは、燃料油の需要減退傾向を背景に、販売数量を減らし続けています。



私が家業入りをしてから30年、社長に就任してから15年が経ちます。社長に就任したころは、街道沿いの有力SSに押されがちで、また、地域の人口も減り続けていた」となど背景に、私が

60歳の年齢に達するまで、従業員が定年を迎えるまで事業を続

けられたらしい、そんな事を思つてしまふような状況でした。

「一・二・三」かのタイミングで変わるべきかけを得た、といふことですか

そうですね。社長就任時、経営理念を策定・再構築し、以来、そ

の浸透化を図り、日々の行動規範まで落とし込めるように努めています。

経営理念として真っ先に掲げたのは、「地域社会への貢献」です。

地域のリーディングカンパニーとなり地域社会をけん引するのだという、当社の決意、基本姿勢を示すものです。

燃料油販売に止まらず、車両整備・車販・保険その他、トータルカーサポートを提供できる企

社でありたいと考え、その行動を取り始めたのです。

この時点ではまだ、ガソリンの売り上げが全体の8～9割を占めるという状況でした。この比率が少し下がってきたのは2013～14年。上市町が、消滅可能な性都市として公表された頃です。

松井エネルギーモータースの創業者は、私の祖父。地域の方々のお困り事に対し、真摯に声に耳を傾け、その期待に十分に応えることで成長してきたのだと改めて気付かされました。

カーライフをトータルでサポートすること、それが当社の事業定義だったのですが、いや、それだけじやないなと。

地域のためにできる」と、すべきことは何だろうか。よくよく考え、導き出された答えは福

祉車両にかかる業務でした。

一一なるほど。そういう経緯で福祉車両事業に参入されたのですね

を代車として購入し、福祉車両

事業をスタートしました。

一一最初は、どんなことをしたのですか

そもそも、デイサービスをご利用する方が当社SSにご来店した際、代車がなくて困っているという声を聞いてはいたんです。

けれど、当時は、福祉車両について何も知らなくて。

いろいろと情報を集めた結果、全国総合福祉車両協議会の存在を知り、福祉車両の修理に関することだけでも聞けたらいいと思つて、連絡をとつてみたのが、事の始まり。全国総合福祉車両協議会に加盟したきっかけです。

その後、所定の研修（4日間）

を受講した上で、当協議会代表理事・稻垣氏のアドバイスのもと、ハイエースのリフト車1台



「当社には、福祉車両の代車サービスや介護施設が70拠点ぐら

いあります。修理でお困りの内チラシを配布しました。

際は無料でお貸し出しをします

ので、お声をかけていただける  
とお役に立てると思います」と。

さらに一筆、「当社は、介護に  
関わるすべての方々の協力者に  
なります」と書き添えたのです。

そのように発信すると、あり  
がたいことに多くの方々より反  
響をいただきました。

福祉車両事業を立ち上げた当  
初から、当社が提供するサービ  
スのご利用者が保有する車両に  
ついても深く関与できたわけで  
はありません。

私どもが置かれた立場は、あ  
くまでも協力者です。この立場  
を踏み外さないように配慮しま  
した。

「米寿祝いの記念写真を撮り  
たい。紅白幕はあるか」「自宅に  
手すりを設置したい。地元の業  
者を知らないか」とか、そんなご  
相談事にも親身になつて寄り添

つていくうち、当社の信用・信頼  
を得ていったのです。

「困った時に助けてもらつた  
から、次からは、松井さんのお店  
でガソリンを入れるわ」

「保険は全部、松井さんのと  
ころでお願いするよ」

今度、「福祉車両を購入したい  
から、見積もりを出してほしい」  
などとなつていつたのです。

一代車は現在、どのぐらい  
の数を保有していらっしゃるの  
ですか

代車は、ハイエース一台とス  
ロープ付きの軽自動車が2台で  
す。

保険会社様からは、レンタカ  
ーとして貸し出しをしてもらえ  
ないかと向けられたりもするの  
ですが、お断りしています。

それをしてしまうと、地域の  
方々のご要望に応えられなくな

つてしまふからです。

上市町と隣接する立山町と、

滑川市を含めた、約万人ぐらいの域内をひとつの商圈ととらえて

います。福祉車両を切り口として、車に関する様々な場面でお

客様とより深く関わっていく、  
という事業方向性を明確にし、  
日々取り組んでいます。

売上高に占める割合も燃料・  
整備・車両販売それぞれが約3  
分の1ずつを占め、安定してお  
ります。

一一松井エネルギーモーター  
ス様の事業展開における、全国  
総合福祉車両協議会の存在意義  
を教えていただけますか

「福祉車両は、消費税がかかる  
ない」などと基本的な事柄から  
教えていただき、きちんと身  
につけることができました。

福祉車両の修理方法や、また、  
どんな箇所・部分が壊れやすい  
とか、その原因についても正しく  
学ぶことができました。



る以前と比べ倍程度にまで伸びています。

その甲斐あって、当社の売上  
高は現在、福祉車両を事業化す

もありがたいのです。

しい限りです。

福祉車両に関する内容だけではなく、スタッフ採用のコツ、案内チラシの効果的な配り方なども相談できるので、そのノウハウを見聞きして覚え、そつくり実践できたのは大変ありがたかつたですね。

当社の福祉車両事業は今や、「ありがとう」の言葉であふれる事業へ成長を遂げています。

それもこれも、全国総合福祉車両協議会様のご協力と支えがあつたからこそ。

本当にありがとうございます。また。引き続き、これからもよろしくお願い致します。

一一「ありがとうの言葉で溢れた事業」一好循環が生まれている様子が手に取るように伝わってきますよね。こちらこそ、ありがとうございます。お言葉を頂だし、嬉しい